

広報佐野日大

SANONICHIDA1 vol. 234 2023.3.1

様々な経験を胸に、次のステージへ…



2020.4 入学式



2022.6 顕桜祭



2021.12 研修旅行



2021.12 研修旅行



2022.6 顕桜祭



2021.12 研修旅行



2022.4 遠足



2022.4 遠足



2022.11 全国高校サッカー選手権 県予選



2022.11 県高校駅伝優勝報告会



2023.1 全国高校サッカー選手権



2022.12 全国高校駅伝大会

卒業おめでとう!!

TOPICS

- ・【卒業式にあたって】校長・理事長 お祝いの言葉
- ・【国際交流】ニュージーランドタマテア高校姉妹校調印式
- ・【生徒の活躍】2年 研修旅行 部活動等の活躍
- ・【輝る佐日旋風】陸上競技部：都大路で力走！ サッカー部：全国ベスト8！

卒業式にあたって



「新たな世界へ」

校長 渡邊 明男

今、本校での3年間の学園生活を終え、新たな世界に飛び立とうとしている卒業生の皆さんの、大きく立派に成長した姿を目のあたりにし、誇らしく、そしてまた清々しい感動で胸がいっぱいになっているところです。

本校の57期生として本日巣立っていく皆さんは、3年前の令和2年4月に本校に入学されました。高校時代への大きな期待を胸に新たな生活をスタートさせたわけですが、同時にそれはCOVID-19によるパンデミックの入り口の時期でもありました。全国的な学校休業の中、対面で行われるべき授業も、オンラインでの学びから始まりました。もちろん本校では得意のICTを活用し、滞ることなく学習やホームルームなどが進められましたが、やはり級友や先生方と一堂に会する形の授業には遠く及びません。また本来であれば高校時代を華やかに彩るはずの様々な行事や部活動、各種大会なども中止、延期、縮小となりました。生徒の皆さんもさぞかし残念であったことと拝察いたします。

しかし、そのような中であっても辛抱強く、その時々に応じた感染症対策等をしながら、それぞれが持つ高い目標に向かって熱心に学び、そしてまた部活動や課外活動など様々な取り組みに情熱を注ぎました。その中で、仲間たちとの絆を深めながら、人生の土台となる人間力を身につけ、有意義な学校生活を送ってきました。

その後コロナ感染症の状況に応じ、徐々に通常の形の高校生活に近づいていく中、皆さんは、日々その力強さを増し、若者らしくダイナミックに成長する姿を見せてくれました。もちろんその過程においては、自らのアイデンティティを確立していくべき、「疾風怒濤」とも表現される青年前期特有の苦労や悩みにさいなまれることも多かったことでしょう。しかし、仲間たちや先生方、そしてご家族の皆様としっかりと手を携えながら、見事その目標の実現を果たすと同時に、青年前期という不安定で困難な時代を乗り越えて、本日の卒業という晴れがましい節目を迎えるに至ったのです。

本校を巣立ったのちも、皆さん一人ひとりがそれぞれの目指す「新たな道」において、より一層大きく飛躍し、輝きを増していくことを期待し、私が敬愛してやまない斎藤喜博先生の「一つのこと」という詩をここに贈ります。

いま終わる 一つのこと
いま越える 一つの間
風わたる 草原
ひびきあう 心の歌
桑の海 光る雲
人は続き 道は続く
遠い道 はるかな道
明日のぼる 山もみさだめ
いま終わる 一つのこと

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。春秋に富む皆さんの、大いなるご活躍を心からお祈りしています。



「失敗」のすすめ

理事長 長谷川 弘

「米国労働人口の47%がAIなどの機械に代替されるリスクが70%以上」。この論文がマイケル・A・オズボーン氏らによって発表されたのが2013年。そして現在、金融業界等で「RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）」が定型事務作業の自動化により職員の残業時間を削減し、自律的に判断・行動する「スマートマシン」の普及が大量失業の可能性を示唆するなど、その兆候は確実にあらわれています。また「第四次産業革命」と「ソサイエティ5.0」の到来は、世界の産業構造と就業構造を劇的に変化させ、日本でも2018年、内閣府が「人間中心のAI社会原則（案）」を発表するなど「AI-Ready」な社会の策定が進められています。

一方で「東ロボくんの母」、国立情報学研究所・社会共有知研究センター長の新井紀子教授のように「シンギュラリティ（技術的特異点）は来ない」という識見もあります。自然言語は数学が扱えない領域のためAIに倫理観や価値観が絡む判断はできず、人間を超えられないと見るものです。

ゆえに人間特有の発想・創造力を表す言葉である「IDEA（intuition: 直感、design: デザイン、emotion: 感情、art: 芸術）」に基づくアート思考を鍛えていくことは非常に大切になります。さらに人間には、個々の力を倍増させる3つの「ワーク」があります。他者と協力（コラボレーション）して作業するチームワーク、アイデアを生み出す力となる人的ネットワーク、失敗を恐れず挑戦するフットワーク、すなわち行動力です。テスラ共同創業者兼CEOであるイーロン・マスク氏も「アイデアを実行すること」の重要性を述べています。

またそれに加え、全力で努力した結果としての「失敗」が、イノベーションをもたらします。ダイソン社の創業者ジェームズ・ダイソン氏はサイクロン式掃除機の開発に臨み、なんと5126回も失敗しています。失敗の繰り返し人間を強くすること、つまり「レジリエンス」の重要性です。強い風に吹かれた竹は大きく揺れ動くものの、決してすぐに折れたりせず、しなることで柔軟にやり過ごし、またもとの位置に戻ってきます。このしなやかさと、跳ね返る力こそが失敗から立ち直る力、すなわちレジリエンスの持つ強さです。

皆さんはこれから、それぞれの人生を歩んでいきます。そこでまずは、たくさんの人と出会い、多くの本を読み、時には旅に出ることで経験を深め、価値観を広げてください。そしてそれを土台として積極的に行動し、全力で挑戦を重ねてください。多くの挑戦は多くの失敗につながりますが、その苦境からの回復が皆さんをたくましくするのです。

卒業生の皆さんが「しなやかで強い心」をもって、この大変革の時代を生き抜くことを期待し、はなむけの言葉といたします。

生徒の活躍

国際交流特集

ニュージーランドタマテア高校 姉妹校調印式



1月31日(火) タマテア高校
Robin Fabish校長と

タマテア高校との姉妹校提携の調印式が執り行われた。タマテア高校はマオリ文化を広く、深く教育に取り込んだ学校で、今後も本校との継続的な交流を深めていく。

タマテア高校ターム留学

1月22日(日)～3月中旬の期間でターム留学を実施している。生徒たちはホームステイをしながら高校に通い、語学や異文化を理解するための貴重な体験を重ねている。



そのほか、12月にはハンガリー研修(9日間・姉妹校フンファルビ高校にて)が行われた。また1月27日(金)には特進コース1年生が校内での「エンパワーメントプログラム※」に参加し、留学生15名とグループワークを通じて意見交換を行った。

※エンパワーメントプログラム…グローバルマインドを醸成し、多様な意見の受け入れを体感するプログラム

2年生 研修旅行に行ってきました

進学 12/2(金)～12/6(火)
熊本、長崎、福岡、山口、広島
特進 12/3(土)～12/7(水)
熊本、長崎、福岡
S進 12/4(日)～12/8(木)
熊本、長崎、福岡



研修旅行の様子は
コチラから



グラバー園



長崎大学の学生と
フィールドワーク



出島



熊本城



ハウステンボス



松陰神社

全国高校 ビブリオバトル!

“本の甲子園” 栃木県代表 大崎さん

1月22日(日) 立命館大学
大阪いばらきキャンパスにて



12月11日(日)、栃木県総合文化センターにて行われた栃木県大会で優勝を果たした大崎彩夏さん(2年・栃木・栃木南中)が“本の甲子園”と呼ばれる全国高校ビブリオバトル決勝大会(大阪府)へ出場した。大崎さんは住野よる著作の『か「」く「」し「」ご「」と「』』を取り上げ、「高校生の日常に潜む素敵な隠し事を見つけてみませんか」と呼びかけた。

祝! 春の全国大会進出!



1月28日(土)ユウケイ武道館にて

剣道部祝

県高校剣道新人大会が行われ、男子の部で優勝。それにより全国高校剣道選抜大会(3月愛知県にて開催予定)への進出が決定した。



ゴルフ部祝

下村 剛(2年・江戸川・篠崎中)
井上 笑慈(1年・伊勢崎・あずま中)
角田 愛理(2年・鹿沼・北中)
辻 結名(1年・高崎・榛名中)
山本 実希(1年・足利・第二中)

12月23日(金)・24日(土)、千葉県一の宮カントリー倶楽部にて行われた関東高校ゴルフ選手権冬季大会において、優秀な成績を収めた男女5名が全国高校ゴルフ選手権春季大会(3月兵庫県にて開催予定)への出場権を獲得した。



【ダンス部】 県高体連ダンス新人大会 優勝
【美術部】 人権に関するイラストコンクール
最優秀賞 坂野 百花(2年・小山・小山城南中)
【作文】 税に関する高校生の作文
関東信越国税局長賞 青柳 瑠那(1年・加須・昭和)

【弁論】 県高校国際理解弁論大会
優秀賞(第2位)
栃木県教育委員会教育長賞
小沼佑樺(2年・幸手・幸手中)
※全国高校総文祭(8月予定)へ進出

おめでとうっぴい!!



ひか 輝る 佐日旋風

～ 全国大会 感動をありがとう! ～



第73回全国高校駅伝競走大会 12/25

都大路 力走!

チーム一丸となって臨んだ全国大会。第4区では全体12位となる力走を見せた。全国の舞台で印象的だったのは沿道からの声援だったと山口主将は振り返った。今年のチームの良さは「チームワーク」と「オンオフの切り替えの早さ」。それらを武器に5年ぶり19回目の全国出場を果たした。目標としていた入賞には届かなかったが、これから一人でも多くの選手が全国の舞台で活躍できるようになること、また全国で優勝争いをするチームになることを目標に、一日一日を無駄にせず頑張ってもらいたいと後輩たちへ夢を託した。



主将 山口聡太さん

全国大会 20位 2時間6分40秒

- 1区 山口 彰太 (3年・足利・第二中)
- 2区 長岡 蓮人 (3年・益子・益子中)
- 3区 山口 聡太 (3年・足利・第二中)
- 4区 大島 福 (1年・藤原藤・厚崎中)
- 5区 石川 悠斗 (2年・真岡・真岡東中)
- 6区 木村 蒼希 (3年・下野・石橋中)
- 7区 大屋 涉悟 (3年・羽生・南中)



全国ベスト8!

6年ぶり9回目の全国への切符を手にした「桜者たち」は、全国ベスト8という栄光をつかんだ。対履正社高でのPK戦を制した場面が忘れられないと語る江沢主将。勝利への執着心がチームの良さとしり返る主将の言葉には、自分たちのプレースタイルへの自信と苦楽を共にした仲間への誇りが感じられた。「目の前の相手に負けないこと」「試合に出られない時は誰よりも練習して諦めないこと」、そして「日々の学習も怠らないこと」と言葉を残した。これまで自分たちが努力し続けたことはしっかりと後輩たちに引き継がれてゆく。



主将 江沢匠映さん (3年・ふじみ野・葦原中)

全国大会 ベスト8

- 2回戦 1-0 対 奈良育英高
- 3回戦 1-1 (PK 5-4) 対 履正社高
- 準々決勝 0-4 対 岡山学芸館高



大島 福さん 山口彰太さん 山口聡太さん

TOCHIGI

天皇盃 第28回 全国男子駅伝 栃木県代表選手として出場!

1月22日(日) 広島にて



優勝! 祝 V2!

県高校サッカー新人大会(1/14~2/5)

News 高大連携・キャリア教育 さらなる推進

は今年度から新たに始まったものである。

1・2年生対象

- ・進学講演会
- ・日本大学学部訪問 (文理学部、スポーツ科学部、危機管理学部)
- ・国公立大学説明会

※経済学部では来年度から新たに、新2・3年生を対象とする高大連携教育が始まる予定である。

3年生進学予定者対象

- ・日本大学プレオリエンテーション (8学部) 各学部の学部長らによる、入学にあたっての準備や心構えについての講義が行われた。
- ・生産工学部 本校にて2講義開講 *単位認定可能



プレオリエンテーションの様子

編集 後記

入学式に4泊5日の研修旅行・遠足に3年ぶりの本格的な顕桜祭(文化祭)。そして、全国駅伝とサッカー全国大会出場等々…。コロナ世代と言われるものの、数々の光り輝く思い出が、次々と浮かんでくる。卒業生へ、"Continuous effort, not strength or intelligence, is the key to unlocking our potential."(ウィンストン・チャーチル)「自主創造」「文武両道」「師弟同行」の精神を礎に、輝かしい未来へと力強く羽ばたいてください。(平野 記)

広報佐野日大 VOL.234

佐野日本大学高等学校 栃木県佐野市石塚町2555 ☎0283-25-0111代 <https://high.sano-nichidai.jp/>